

十七時

壺中天

黄昏たそがれに

家路を急ぐ二羽の鳥

蒼穹そうきゅうは高く広く

日月じつげつを宿して輝く

揺れ動くわが心

重い足取り 果てのない旅路

響くは錆びた晩鐘

戦そよぐは紫ヒヤシンスの風信子

深閑

壺中天

優れて甘美な香りがどうしたというのか

幽かすかな梅の香りこそ

闇夜を照らす

一筋の光

悲恋

壺中天

わが十一番目のムーサ

貴女への思慕は荒波となり

碧海の巨岩をも砕く

だが蒼天の太陽は

黒いヴェールで貴女を隠す

涙の雨は海より来るか

天より来るか

古来海と天とは相交わらず

ああ 回転する三姉妹の錘の

残酷な調べよ